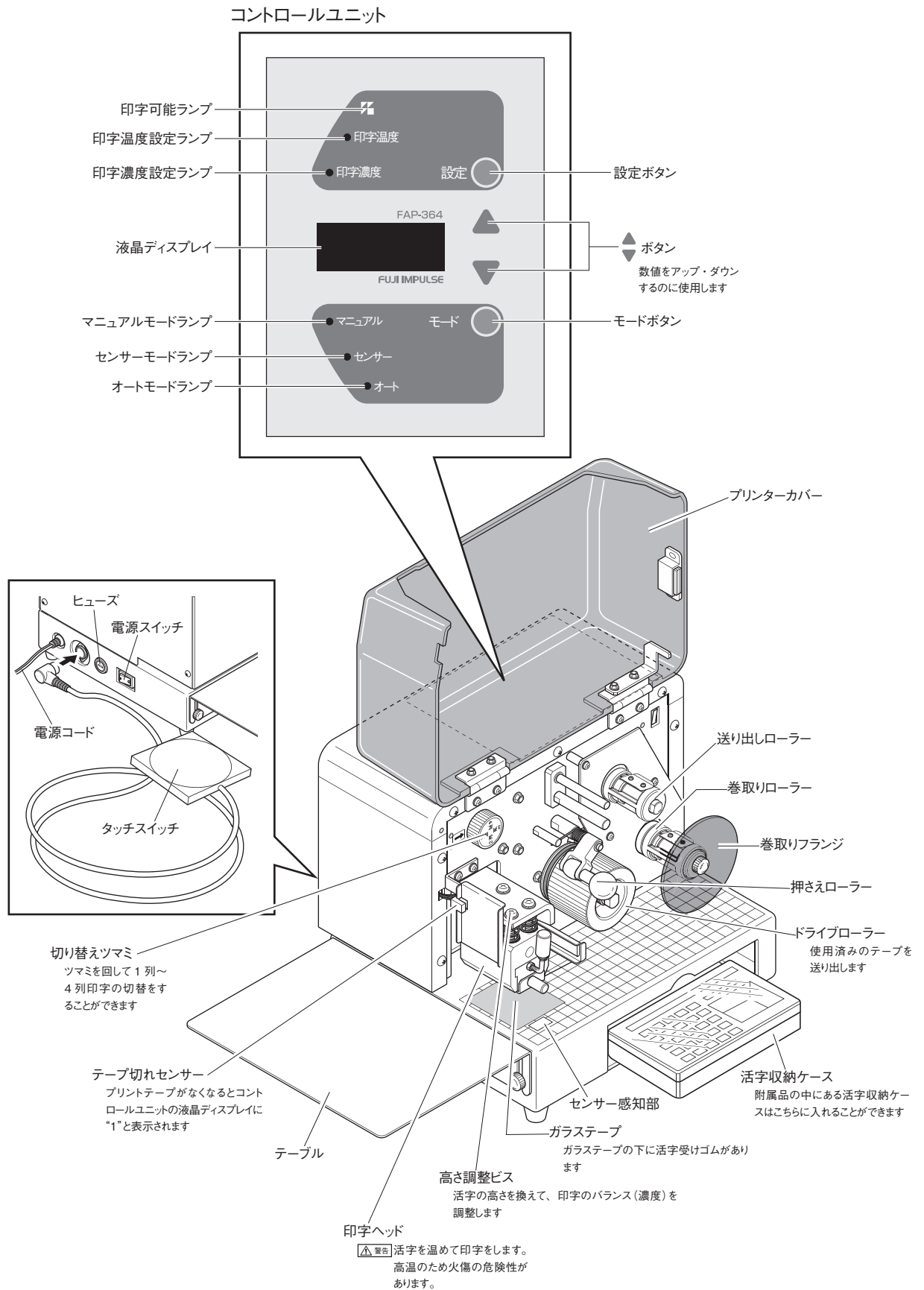


7 各部の名称とはたらき

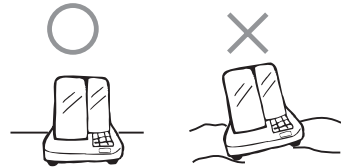


8 正しい使い方

製品を使用される時は以下の『正しい使い方』をよくお読みいただき、お使いください。
以下の方法以外の操作方法で使用されますと故障の原因となり、たいへん危険です。

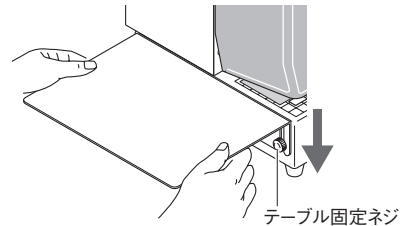
8-1 製品の設置

水平な面を持つ適切な作業台の上に設置してください。



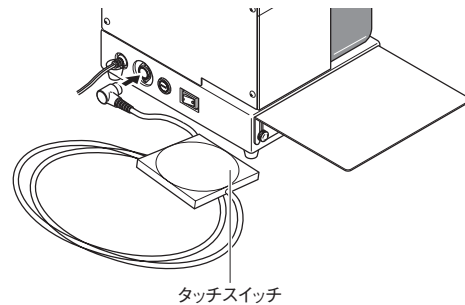
8-2 テーブルの取り付け

機械前面部のテーブル固定ネジを緩めて、できたスキ間にテーブルを差し込みます。
テーブル固定ネジで締め付けてテーブルを固定してください。



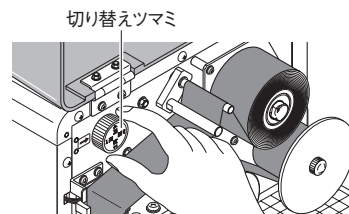
8-3 タッチスイッチの取り付け

タッチスイッチを製品の前面に向かって左側にある取付口に確実に差し込んでください。



8-4 プリントテープの取り付け確認と印字列数設定

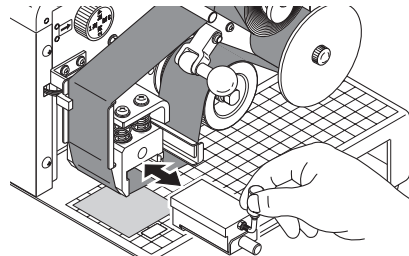
プリンターカバーを開けて内部のプリントテープが正しく取り付けられているか確認してください。「10-1 プリントテープの交換」をご覧ください。
また、切り替えつまみを印字したい列数に合わせてください。



8-5 活字のセット

「10-4 活字の交換」をご覧ください、活字をセットしてください。

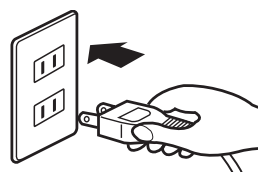
⚠ 警告 活字のセットは電源スイッチを ON にする前に行ってください。電源スイッチを ON にすると印字部が熱くなりますので、火傷をする危険性があります。



8-6 電源コードの接続

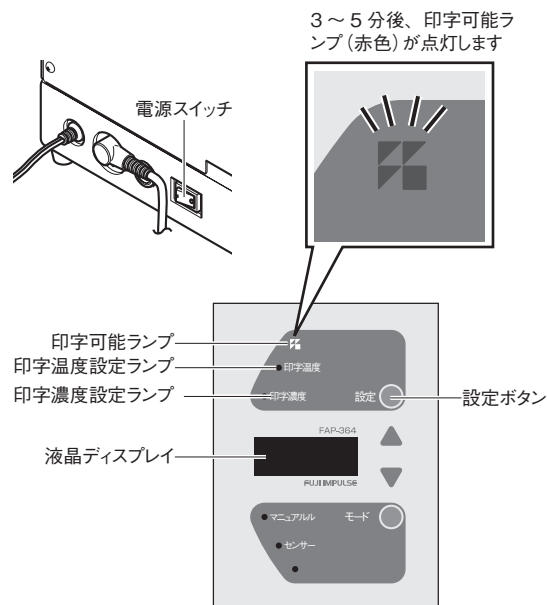
機械前面に向かって左側にある電源コードの差し込みプラグを「1 仕様」に記載している電圧・電力がとれるコンセントに確実に根元まで差し込んでください。

⚠ 警告 規定の容量に合わない場合、火災などが発生する危険性があります。



8-7 電源スイッチを ON にして、適温になるまで待つ


機械前面向かって左側にある電源スイッチを ON 状態にして、ヒーター部が印字可能な状態に温まるまで 3～5 分お待ちください。印字可能な状態になると、コントロールユニットの「印字可能ランプ」が赤く点灯してお知らせします。



8-8 コントロールユニットで設定

MEMO コントロールユニットの設定手順については「9 コントロールユニットの操作手順」をご覧ください。

8-8-1 カウンターのリセット

コントロールユニットにカウンター数値が表示された状態で  ボタンを同時に押してください。


8-8-2 印字条件の設定

コントロールユニットで印字温度、印字濃度を設定します。印字する包材によって設定値は変わりますので、印字途中で包材を変更された場合はその都度設定を行ってください。

設定ボタンを押すとカウンター数値→印字温度→印字濃度の順に液晶ディスプレイに表示します。表示されている設定のランプが点灯します。

どのランプも点灯していない場合はカウンター数値が表示されています。


8-8-2-1 印字温度の設定

コントロールユニットの「設定ボタン」を押し、印字温度のランプを点灯させ、「 ボタン」で印字温度を設定します。

■ 温度設定範囲

= 0～10 : 100℃～180℃・・・11 段階調整

8-8-2-2 印字濃度の設定

コントロールユニットの「設定ボタン」を押し、印字濃度のランプを点灯させ、「 ボタン」で印字濃度を設定します。

■ 濃度設定範囲

= 0～10・・・11 段階調整

⚠ 注意 1 列や 2 列印字の場合、右上イラストの設定数値よりも高い数値で使用するとプリントテープに負担が掛かりシワが生じて最後まで巻き取れなくなります。必ず設定数値内で使用してください。

注! 濃度 0 設定について (最も薄いフィルムに対しての印字調整)

・・・薄手フィルムの 1 列印字の場合は温度設定 1～2 濃度設定 0 でご使用ください。

印字温度と濃度の設定数値

1 列印字	… 温度設定 2～5	… 濃度設定 1～4
2 列印字	… 温度設定 4～8	… 濃度設定 3～7
3 列印字	… 温度設定 6～9	… 濃度設定 5～8
4 列印字	… 温度設定 7～10	… 濃度設定 6～9

W1048

プリンターカバー上部に上記の「印字温度と濃度の設定数値」が貼り付けてありますので、印字列数に合わせて設定をしてください。

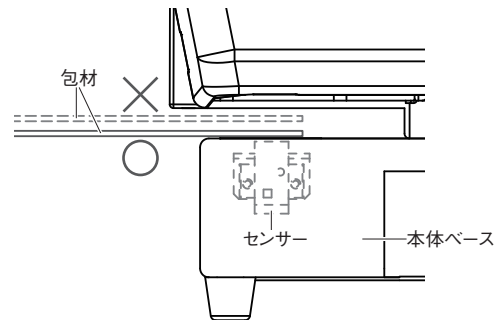
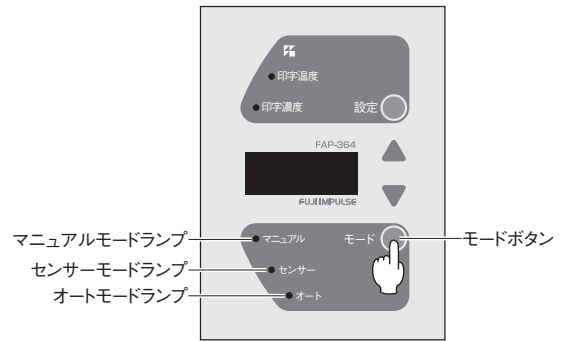
8-8-2-3 運転モードの設定

コントロールユニットの「モードボタン」でマニュアル、センサー、オートの設定ができます。

- 1 マニュアル；モード
タッチスイッチを押した時に印字します。
- 2 センサー；モード
内部センサーが感知して印字します。
- 3 オート；モード
設定した時間の間隔で連続して印字します。

注！ センサーモードで確実に動作させるために、以下の点に注意してご使用ください。

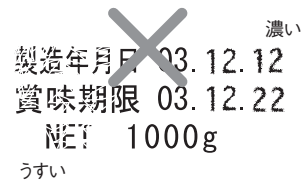
1. 本体ベースの表面に沿わせて、包材をできるだけ浮かさずに挿入してください。
2. 直射日光のあたる場所や明るい照明の近くなどでは使用しないでください。(センサー感知部に直接光があたるとセンサーが検知しない場合があります。)



8-9 印字テスト作業を行う

適切な印字結果を得られるまで印字テストを行ってください。

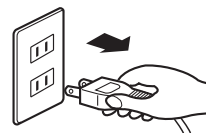
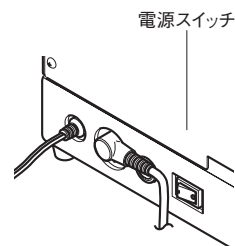
印字がきれいにできない場合は、「11 活字高さの調整」をご覧ください、きれいな印字ができるように活字の高さ調整を行ってください。



8-10 電源スイッチを OFF にする

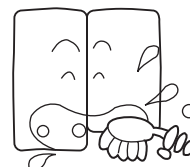
作業が完了したら電源スイッチを OFF にしてください。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



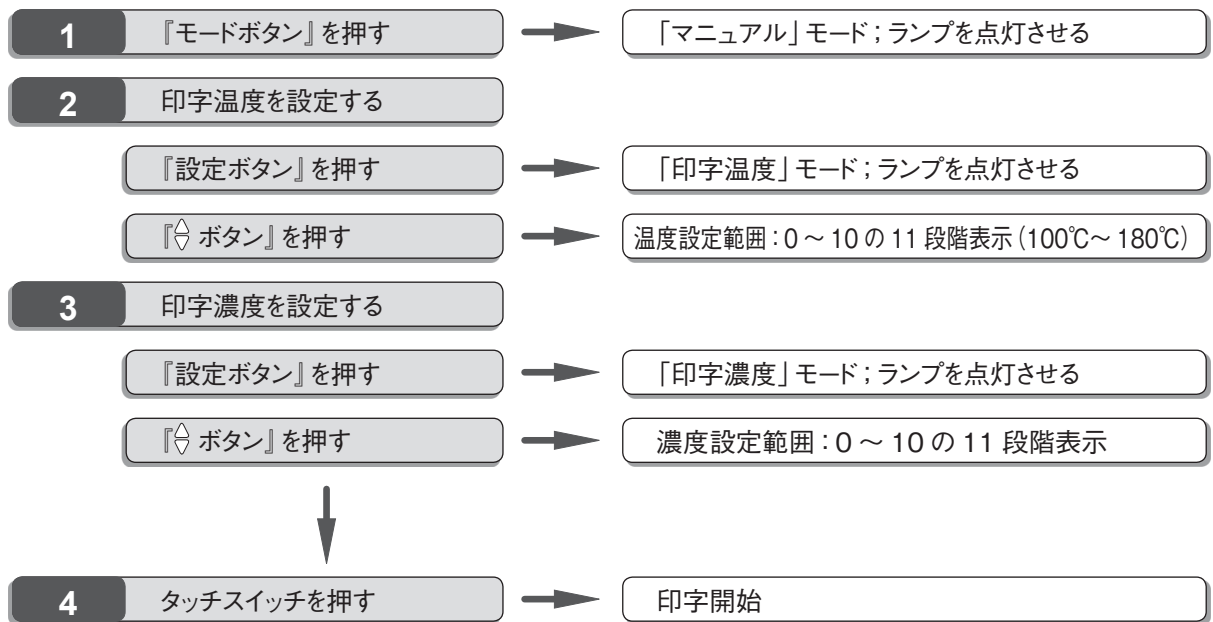
8-11 作業終了後の点検

作業終了後は、清掃を行ってください。その際、活字などの部品が傷んでいないか点検を行い、必要に応じて交換をしてください。

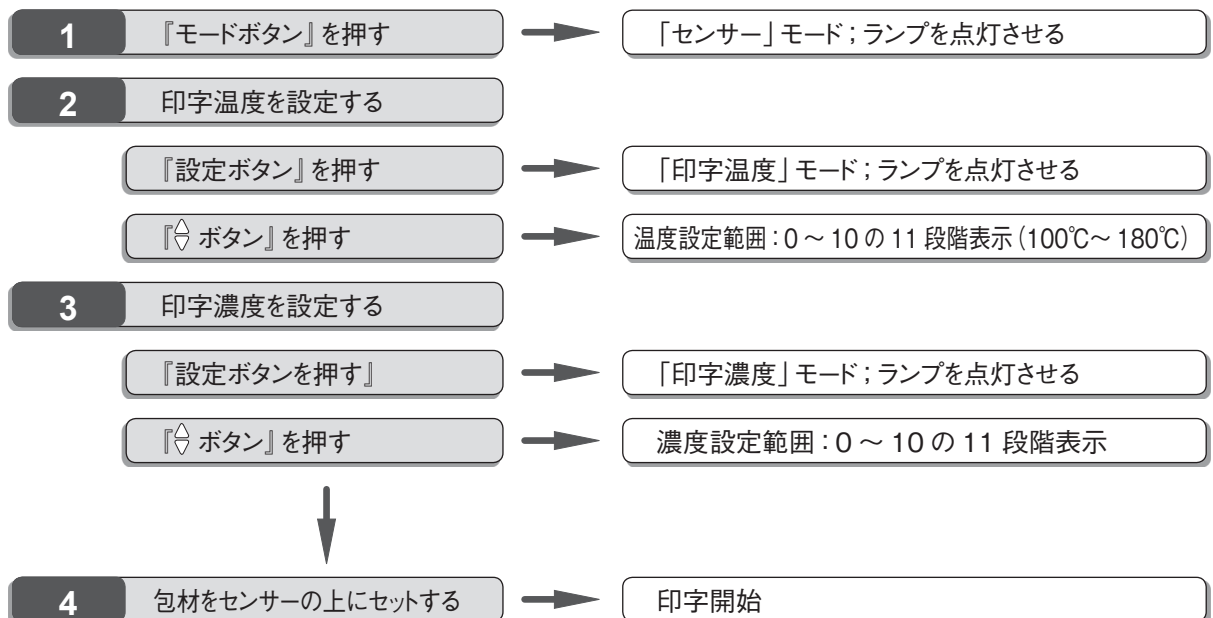


9 コントロールユニットの操作手順

9-1 「マニュアル」モードで使用する場合



9-2 「センサー」モードで使用する場合



9-3 「オート」モードで使用する場合

